

令和6年度 英語科 授業改善推進プラン

大田区立大森第七中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・単語テストや休み明けテスト等を定期的実施し語彙力を高め、文法事項の確認をすることができた。
- ・スピーチや英作文の発表を通し、学習した文型や語彙を使って話したり、書いたりして表現する中で、まとまった英語で表現する力をつけることができた。
- ・ALT との1対1のインタビューテストやディスカッションを通し、英語で意欲的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢を養うことができた。

(2) 課題

- ・全学年を通じて「書くこと」の達成率が他の観点に比べて低いため、普段の授業からライティング活動を増やしていく必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）△目標値を上回る ≡目標値と同等 ▼目標値を下回る

	令和6年度	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	全体 △ 基礎 △ 知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的に学習に取り組む態度 ≡	全体 △ 基礎 △ 知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的に学習に取り組む態度 △	
第2学年	全体 △ 基礎 △ 知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的に学習に取り組む態度 △	全体 △ 基礎 △ 知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的に学習に取り組む態度 △	
第3学年	全体 △ 基礎 △ 知識・技能 △ 思考・判断・表現 ≡ 主体的に学習に取り組む態度 ≡	全体 △ 基礎 △ 知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的に学習に取り組む態度 △	(第1学年時) 全体 △ 基礎 △ 知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的に学習に取り組む態度 ≡

(2) 分析（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1～3学年 3観点のすべてにおいて、目標値を上回った。		

(3) 分析（問題別）

学年	目標値から大きく上回った領域	目標値と同程度の領域（向上の余地あり）
第1学年	アルファベットの書き（聞く） 英文の読み取り（聞く）	日常会話の理解（聞く） 英作文
第2学年	リスニング（さまざまな英文の聞き取り） 語彙の知識・理解	長文の読み取り 場面に応じて書く英作文
第3学年	語彙の知識・理解 単語の並びかえによる英作文	語形・語法の知識・理解 場面に応じて書く英作文

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
口頭でのやりとりや作文などを通して、文法事項を実際に活用しながら身に付けさせる。	パフォーマンス・テストを1単元に1回の頻度で実施し、その中で徐々に高い即興性を求めていく。	クロームブックを利用し、生徒が個々の状況に合わせて学習に取り組める環境を用意する。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
正確に文法項目を理解できるように、繰り返し音読活動を行う。	自己、他己、事物の簡単な紹介文などを、簡単な表現を用いて正確に表現できるように見ていく。	ペアワーク（対話活動）などの活動の中で振り返りを実施する。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文法導入を工夫し、生徒が活動の中で新出事項を学習できるようにする。単語テストを定期的の実施し、語彙力を伸ばしていく。	自己、他己、事物の簡単な紹介文などを、簡単な表現を用いて正確に表現できるように見ていく。	音読活動やペアワーク（対話k集う）のなかで振り返りを実施する。